

# ヘルメット選びは、使用目的 に合った規格・認定品を!

## 規格や認定取得の違いで変わる、ヘルメットの安全性と品質、そして用途。

ヘルメットには、性能の目安となる「規格」や、販売する上で重要な「制度マーク」が表示されています。これらの表示によってユーザー側には、「製品の安全性」や、「品質が基準に適合しているかどうか」を知る事ができます。下には「各規格及び制度の解説」、そして右側には「取得した規格や制度による、用途別のおすすめ度リスト」を掲載していますので、ヘルメット選びのご参考になれば幸いです。

### SNELL規格

レース専用の規格ではなく、すべてのユーザーを対象とした規格です。

**M2000 JNE** アメリカ合衆国のカリフォルニア州サクラメントを本拠地とするスネル記念財団は、非営利的機関として組織され、利益のためではなく人々の安全のために活動を行っています。この財団の定めるSNELL規格は、「約5年毎に規格が見直され、その度に厳しくなる」という、他の規格では見られない特徴を持っています。これは、「最大可能な防護こそ、望ましい最終的なゴールである」という前提の下、「テスト条件を設定する際にも、最もシビアな条件を採用する!」というフィロソフィー(原理)に則ったものです。

#### FULL-FACE TYPE フルフェイスヘルメット



#### OPEN-FACE TYPE オープンフェイスヘルメット



#### OFF-ROAD TYPE オフロード用ヘルメット



### JIS規格

定められた標準規定に適合する製品を、JISマークによって認定します。

**見本** 工業標準化法によるJISマーク表示制度は、品質などの内容を具体的に規定して、適合する製品にはJIS適合品であることを示す表示(JISマーク)を付けることができるという制度です。ヘルメットのJIS規格、「日本工業規格、乗車用安全帽」は、平成12年に「新しいJIS規格」へと改正され、この規格改正に伴い、そのテスト方法が国際標準に則った方法に変わりました。また、新しいJIS規格では、A種、B種、C種の分け方がなくなり、「二輪車全般」という一つの規格になり、旧JIS規格のA種にあたるA型ヘルメットには、「付属書」という別な規格が用意されました。

### PSマーク

定められた技術基準に適合する製品を、PSマークによって認定します。

**見本** 消費生活用製品のうち、構造、材質、使用状況等からみて、一般消費者の生命または身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を、政令で「特定製品」としています。そして、国で定めた技術上の基準に適合した「特定製品」には、PS(Product Safety)マークが表示されます。製造メーカーが、自社製品にPSマークを表示するには、一定事項の届け出を行い、自社または適当な民間検査機関による製品の試験を実施し、当該検査記録の作成、及びその保管を行います。尚、PSマークを表示していない乗車用ヘルメットの販売、または販売目的での陳列は禁止されています。

### 取得している規格と制度

- SNELL規格** スネル規格にパスしています。
- JIS規格** JIS規格にパスしています。
- PSマーク** PSマーク制度に適合しています。
- MFJ公認** MFJに公認されています。<sup>※</sup>

#### FULL-FACE TYPE 1

用途	おすすめ度
ロードレース	★★★★★
ワインディング	★★★★★
高速道路	★★★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

#### OPEN-FACE TYPE 1 <sup>MFJ公認</sup> <sub>※MFJは未公認</sub>

用途	おすすめ度
ロードレース	使用できません
ワインディング	★★★
高速道路	★★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

#### OFF-ROAD TYPE 1

用途	おすすめ度
オフロードレース	★★★★★
ワインディング	★★★
高速道路	★★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

### 取得している規格と制度

- JIS規格** JIS規格にパスしています。
- PSマーク** PSマーク制度に適合しています。
- MFJ公認** MFJに公認されています。

#### FULL-FACE TYPE 2

用途	おすすめ度
ロードレース	★★★
ワインディング	★★★
高速道路	★★★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

#### OPEN-FACE TYPE 2

用途	おすすめ度
ロードレース	使用できません
ワインディング	★★
高速道路	★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

#### OFF-ROAD TYPE 2

用途	おすすめ度
オフロードレース	★★★
ワインディング	★★
高速道路	★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

### 取得している規格と制度

- JIS規格** JIS規格にパスしています。
- PSマーク** PSマーク制度に適合しています。

#### FULL-FACE TYPE 3

用途	おすすめ度
ロードレース	使用できません
ワインディング	★★
高速道路	★★★★
街乗り	★★★★★
ツーリング	★★★★★

#### OPEN-FACE TYPE 3

用途	おすすめ度
ロードレース	使用できません
ワインディング	★
高速道路	★
街乗り	★★★
ツーリング	★★

#### OFF-ROAD TYPE 3

用途	おすすめ度
オフロードレース	使用できません
ワインディング	★
高速道路	★
街乗り	★★★
ツーリング	★★

### MFJ公認

公式レースに出場するには、MFJ公認のヘルメットが必要です。

財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)は、各種モーターサイクルスポーツを統括し、開催・公認・指導・普及を行う団体です。MFJは、競技者の安全に寄与する事を目的に、競技用ヘルメットの公認に関しての制度を定め、MFJが公認したヘルメットには「公認シール」が貼られます。尚、MFJ等の公認レースの車検時に「公認シール」がヘルメットに貼られていない場合、レース出場資格を得る事ができません。

**FIMマーク** MFJ公認のスネル規格品ヘルメットに貼られるマーク。国際格式(FIM公認)のロードレースとモクロスには、このマークが貼られたヘルメットが必要です。

**MFJマーク** MFJ公認のJIS規格品ヘルメットに貼られるマーク。MFJ公認のロードレースとモクロスには、このマークが貼られたヘルメットが必要です。

**MFJマーク** MFJ公認のJIS規格品ヘルメットに貼られるマーク。MFJ公認のトライアル競技には、このマークが貼られたヘルメットが必要です。

**MFJ公認申請テストの落下高さ・3m** ストライク

**新JIS規格の落下高さ・2m** 試験ヘルメット 人頭模型

●JIS規格品ヘルメットをMFJに公認申請する場合、ロードレース用ヘルメットに関しては、追加テストの【耐貫通性試験】に合格する事が義務付けられます。

●耐貫通性試験は、重さ3kgのストライク(鋼鉄製)を、3mの高さからヘルメットへと落下させます。そして、ストライク先端部が、ヘルメット内部の人頭模型(マグネシウム合金製)へ接触するのをヘルメットが阻止できた場合、合格と判定されます。